

【競走馬データ仕様書内容の説明】

=====

□IDM(インデックスメモリー)

IDMとは、スピード指値に記憶(レース内容、馬場状態、当日の馬のコンディション等)を数値化したものです。勿論、馬の状態、馬装具点検を肉眼で同じ場所で客観的に観るようにしています。ようするに競馬は時計だけではなく”記憶”も重要ではないかとの理論です。詳細なファクターは下記の通りです。

IDM「インデックス(スピード能力)・メモリー(記憶)」の算出方法。

- A 基準タイム… 各競馬場(距離・芝・ダート)別走破タイム。
- B 馬場差… 芝、ダート馬場状態(速良・良・遅良・速稍重・
稍重・遅稍重・速重・重・遅い重・速不・不・遅不)
天候(雨・雪・風・雷・霧)
- C 斤量… 別定・ハンディ・馬齢・基準0.5kg。
- D レース内容… 出遅れ・不利・落鉄・放馬・勝ち振り等。
- E 位地取り… 最内・内・中・外・大外の馬場差。
各コーナー差。
- F ペース… レースペース.前3F/5F.後3F/2F。

等をレース毎に数値化した数値に他のファクター(秘)を取り入れ該当レース条件に調整した数値です。現在、馬柱にIDMと表記されていますが、実際はIDM調整値です。

=====

□騎手指数

基準オッズと騎手の連対率の関係を基に算出された指数値。

=====

□情報指数

基準オッズ、厩舎指数、調教指数等様々な情報を基に算出された指数値。

=====

□総合指数

IDM、騎手指数、情報指数を合計した値。

=====

□脚質コード

過去の競走実績よりその馬の脚質を判断したコード。
(JRDBデータコード表参照)

=====

□距離適性コード

該当馬の実績、血統、馬体から判断される距離適性をコード化。
(JRDBデータコード表参照)

=====

□上昇度

前走から(次走へ向けて)の上積み の度合い

JRDBデータコード表参照

☐ローテーション

間に金曜日が入っている数で決定、連闘は0、初出走はスペースとなる。

☐基準オッズ(単勝、複勝)

関西・関東の各専門情報紙(予想・評論家等)(関東約9紙150人前後・関西約8紙100人前後)の印を独自に分析し算出した単勝・複勝基準オッズ(時系列分析対応)になっています。

☐特定情報(◎○▲△×)

専門情報紙の特定の情報値。

☐総合情報(◎○▲△×)

専門情報紙の情報値。

☐人気指数

その馬の人気を指数化した値。

☐調教指数

関西・関東の各専門情報紙を分析し、独自のデータベースを作成、そのデータベースをもとに下記の指数を算出しています。各専門紙・情報紙の予想・評論家等が担当の調教コースにおいてどれだけ正確に馬の状態を判断しているかを数値化したデータベースをもとに、専門情報紙の印を分析して算出した数値。

☐厩舎指数

調教指数同様、独自のデータベースを作成、そのデータベースをもとに下記の指数を算出しています。各専門紙・情報紙の予想・評論家等と厩舎との密接度を数値化したデータベースをもとに、専門情報紙の印を分析して算出した数値。

☐調教矢印コード

調教から見た馬の調子をわかりやすく5段階評価したもの。
(JRDBデータコード表参照)

☐厩舎評価コード

厩舎サイドの期待度をわかりやすく4段階評価したもの。
(JRDBデータコード表参照)

☐騎手期待連対率

騎手別に、基準オッズ範囲毎の連対成績を集計したもの。
騎手Aが単勝基準オッズBの馬に乗った場合の過去の成績を集計し、算出された連対率を騎手期待連対率としています。データには、今回の基準オッズにおける騎手期待連対率が入ります。

=====

☐ 激走指数

過去の高配当レースを分析し得られた激走するさまざまな要素を数値化し合計したもの。主要要素を以下に示します。
コース枠脚質、騎手、騎手乗り替り、馬具変更、距離適正、クラス、馬体、気配、上昇度、激走情報指数(専門情報紙の印を激走用に分析したもの)
※競馬新聞の大穴激走注目馬は、人气が低く、激走指数の高い馬です。

=====

☐ 蹄コード

パドックでの観察により馬の蹄を分類したもの。
各馬の蹄の大きさを大・中・小・細の4種類に、形状を立・標準・標準立・標準ベ・ベタの5種類に分類しています。「中ベタ」なら蹄の大きさは中ぐらいでベタ蹄という意味です。
芝の重馬場、荒馬場では蹄の立っている馬が有利になります。但しダート戦に関してはこの限りではありません。
(JRDBデータコード表参照)

=====

☐ 重適性コード

過去の成績、蹄の形状等よりその馬の重馬場への適性を3段階評価したもの。
(JRDBデータコード表参照)

=====

☐ クラスコード

馬の能力をクラスで分けたもの。
芝OPA・・・芝のオープン戦で勝つ能力のある馬。
芝OPB・・・芝のオープン戦で好戦できる能力のある馬。
芝OPC・・・芝のオープン戦で頭打ちの馬。
(JRDBデータコード表参照)

=====

☐ 馬主会コード

競馬場毎にあり、コードは、場コードと同じです。馬主会に所属されていない馬主の方もおられます。馬主会が「不明」の方は、スペースになっています。
例)京都馬主会 ⇒ "08"
※"10" は、九州馬主会です。

=====

☐ 輸送区分

滞在、遠征などの輸送過程を表します。直前輸送(直輸)を通常／遠征に分けました。
1 滞在 ローカル競馬場で、競馬場に入厩している馬を表します。
2 通常 栗東→京都、美浦→中山等や、札幌→函館を通常としています。
3 遠征 栗東→中山、栗東→小倉等の長距離輸送を遠征としています。
4 連闘 下記【滞在】の説明参照
0 不明

輸送区分は、レース週の最終追い切り(通常は、水or木)の場所で判断しています。

【滞在】の定義

ローカル競馬場(札幌、函館、福島、新潟、小倉)開催において
レース週の最終追い切りを、当該競馬場で行っている場合、【滞在】としています。
連闘馬の場合、おそらく滞在と思われますが、"連闘"と分類しています。
滞在馬で分析する場合、"滞在" あるいは"連闘"と指定すると実際の事です。

□体型

体型データ(24バイト)の内容を説明します。
1バイト毎に馬の各部所の特徴となっています。

・バイト位置と内容

- 1 [体型] 馬体の全体的な形状
- 2 [背中] 長さ
- 3 [胴] 長さ
- 4 [尻] 大きさ
- 5 [トモ] 角度
- 6 [腹袋] 大きさ
- 7 [頭] 大きさ
- 8 [首] 長さ
- 9 [胸] 大きさ
- 10 [肩] 角度
- 11 [前長] 長さ
- 12 [後長] 長さ
- 13 [前幅] 前脚の歩幅
- 14 [後幅] 後脚の歩幅
- 15 [前繋] 長さ
- 16 [後繋] 長さ
- 17 [尾] つけ根の上げ方 1:上げる,2:下げる
- 18 [振] 尾の振り方 1:激しい,2:少し,3:あまり振らない
- 19 予備
- 20 予備
- 21 予備
- 22 予備
- 23 予備
- 24 予備
- 25 予備
- 26 予備

・コードとその意味

体型 ([体型])

- 1:長方形
- 2:普通
- 3:正方形

大きさ ([尻][腹袋][頭][胸])

- 1:大きい
- 2:普通
- 3:小さい

角度 ([トモ][肩])

- 1:大きい
- 2:普通
- 3:小さい

歩幅 ([前幅][後幅])

- 1:広い

- 2:普通
- 3:狭い

長さ（[首][胴][背中][前肢][後肢][前繋][後繋]）
1:長い
2:普通
3:短い

=====

☐ 走法
走法データ(8バイト)の内容を説明します。
※現在、走法データの採取は休止しています。

- ・バイト位置と内容
- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 [走法] 全体的な走法 | 1:ピッチ,2:ストライド |
| 2 [脚使] 前脚の使い方 | 1:掻き込み,2:投げ出し／振り出し |
| 3 [回転] 回転の速さ | 1:速い,2:普通,3:遅い |
| 4 [歩幅] 歩幅(完歩)の広さ | 1:狭い,2:普通,3:広い |
| 5 [脚上] 前脚の使い方 | 1:高い,2:普通,3:低い |
| 6 予備 | |
| 7 予備 | |
| 8 予備 | |

=====

☐ 万券指数、万券印
JRDBでの穴馬分析は激走指数ですが、これをベースに穴得意の展開予想を加え、さらには人気となりがちな情報を減点し、万券に狙いを定めた分析です。

=====

☐ 降級フラグ
4歳馬の場合6月中旬ごろクラス編成が行なわれます。この後、出走可能なレース条件が下がり前半より下のレース条件で出走する場合、このフラグがONとなります。クラスが2つ下のレースに出走できる2段階降級もあります。

=====

☐ 激走タイプ
激走馬選定の候補に上がった馬を含めた、激走馬のタイプです。
穴馬分析用データとして出力しました。

- タイプ
- A1 激走馬、中位人気グループで激走指数1番手
 - A2 激走馬、中位人気グループで激走指数2番手
 - A3 激走馬、中位人気グループで激走指数3番手
 - A4 中位人気グループで激走指数4番手
 - B1 下位人気グループで激走指数1番手
 - B2 下位人気グループで激走指数1番手

基本的によく来ている激走馬は、"A1"と"A2"です。
現在"A4","B1","B2"は、激走馬としていません。

※以前は、3頭目の激走馬は"B1"にしていたましたが、成績が良くないため、"A3"に変更しました。
激走馬は分析により、最適な激走馬タイプに変更される可能性があります。
過去分析される場合は、激走タイプを使用することをお勧めします。

=====

☐ フラグ
・バイト位置と内容
1 芝ダ障害フラグ

- 0:変化なし
- 1:トラック替り(芝ダ替り)
- 2:初トラック(初芝,初ダ,初障)
- 2 距離フラグ
 - 0: 経験有り
 - 1: 最長距離
- 3 クラスフラグ
 - 0: 変化なし
 - 1: 昇級初戦
 - 2: 降級
 - 3: 格上挑戦
- 4 転厩フラグ
 - 0:変化なし
 - 1～3:転厩何戦目(3戦目まで)
- 5 去勢フラグ
 - 0:変化なし
 - 1～3:去勢何戦目(3戦目まで)
- 6 乗替フラグ
 - 0: 変化なし
 - 1: 乗替 (初)
 - 9: 乗替 (再)
- 7 以降はスペース詰め

=====

☐放牧先(入厩データ)

判明した分だけ出力されます。
地域名だけの場合もあります。
「放牧先」には最近入厩してきた元の出発地(主に牧場名)が入ります。
入厩何走目が1の場合は、この中間で放牧に出されていたことになり、2なら、
放牧から帰厩して、2走目となります。
入厩何日前は、この中間で放牧に出されていた場合にセットされます。

☐放牧先ランク

休み明けの放牧先データを分析して放牧先ランクを作成。

連対率を放牧先別に分析し、ランク分けを行いました。
13%以上 Aランク「休み明けのハンデが無い」ということ
11ー13% Bランク
9ー11% Cランク 普通
7ー9% Dランク
7%以下 Eランク

※データが20件以下はランク未設定としています。

※入厩・放牧先データについての注意事項

- ・放牧先に関して「〇〇県」「〇〇町」など、地域のみ掲載する場合があります。
- ・入厩のパターン等によっては、入厩データがない場合もあります。
- ・入厩情報に関してはレース前日にJRDBが入手しているデータまでが反映されます。
- ・入厩データが出走に間に合っていない場合、また入厩データがない場合は「情報無し」となります。
- ・間に合わなかったデータは後日取り込まれることになります。それを反映したデータは定期的に再作成します。

☐厩舎ランク

ランクと色付けの対応について。
デフォルトは5。→何も色無し。
4は欠番
1・S級 ピンク

- 2・A級 オレンジ
 - 3・B級 黄色
 - 5・ノーマル
 - 6・D級 青
 - 7・E級 紫
 - 8・F級 灰色
 - 9・その他総数10以下の厩舎
-